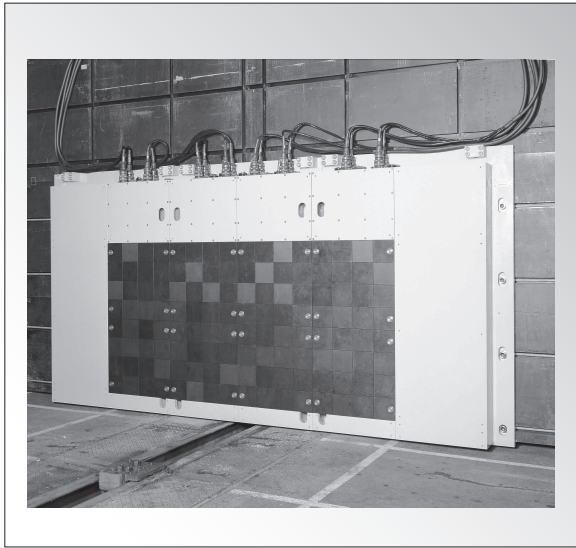


バリア用多分割衝撃力計(128分割)



仕様

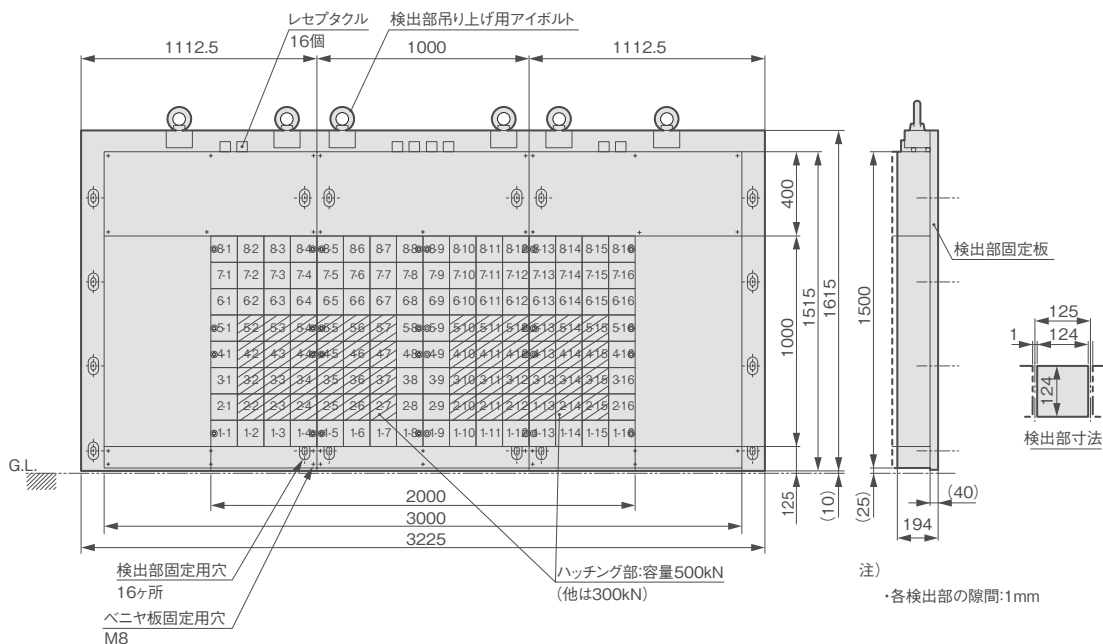
性能	定格容量	500kN×48分割面 300kN×80分割面
	非直線性	±1%RO以内(静的校正において)
	ヒステリシス	±1%RO以内(静的校正において)
環境特性	定格出力	約0.75mV/V(1500×10 ⁻⁶ ひずみ)(1分割面)
	許容温度範囲	-10~70℃
	温度補償範囲	0~60℃
電気的特性	零点の温度影響	±0.1%RO/℃以内
	出力の温度影響	±0.1%/℃以内
	許容印加電圧	10V ACまたはDC
機能的特性	推奨印加電圧	1~5V ACまたはDC
	入力抵抗	350Ω±3%
	出力抵抗	350Ω±3%
機能的特性	ケーブル	0.18mm ² ,4心シールド絶縁ビニル18チャンネル多心 ケーブル15m,外径20mm,両端コネクタプラグ
	許容過負荷	120%
機能的特性	固有振動数	250Hz以上

※定格容量、分割数、ユニットの寸法等はご指定により製作いたします。
また、オフセットバリア用も製作可能です。

衝突面の分布荷重を測定可能

固定障壁面に装着し、荷重載荷部に作用する衝撃荷重をひずみゲージ式変換器で検出するものです。荷重検出面は128ユニット(8段×16列)に分割されており、衝突面の分布荷重を測定することができます。荷重検出方向は障壁面に対し垂直で、1ユニットの定格容量は300kNと500kNの2種類が使用されています。

■外形寸法図



バリア用多分割
衝撃力計
組合せ推奨品

DIS-5000A
→ 5-36